

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

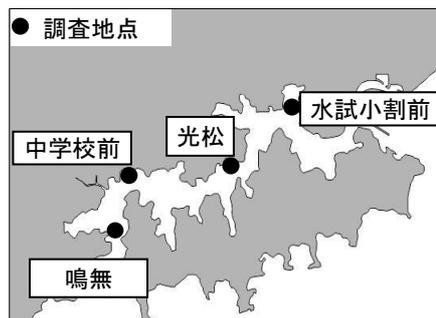
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で164cells/mL、シャットネラ属が最高で274cells/mL、ケラチウム属が最高で25cells/mL、ディクチオカ属が最高で1,600cells/mL確認されました。カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属、ディクチオカ属が漁業被害のおそれがある細胞密度に達しているため、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/mL)

	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ケラチウム属	ディクチオカ属
鳴無	0m	0	0	0	0
	5m	164	64	25	110
	10m	0	274	2	2
中学校前	0m	0	0	1	0
	3m	1	48	4	320
	5m	2	119	9	180
光松	0m	0	0	16	0
	2m	1	110	17	1,600
水試小割前	0m	0	0	3	0
	5m	1	3	1	60



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/mL以上 (魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100～cells/mL (餌食いの悪化)
- ・ディクチオカ属: 数千～cells/mL (魚類等のへい死のおそれ有り)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>